

キャンパス・パンorama MAP

学生たちが学ぶ2つのキャンパス。神田、生田、それぞれの特徴と設備をご紹介します。

10号館
(140年記念館)



10号館



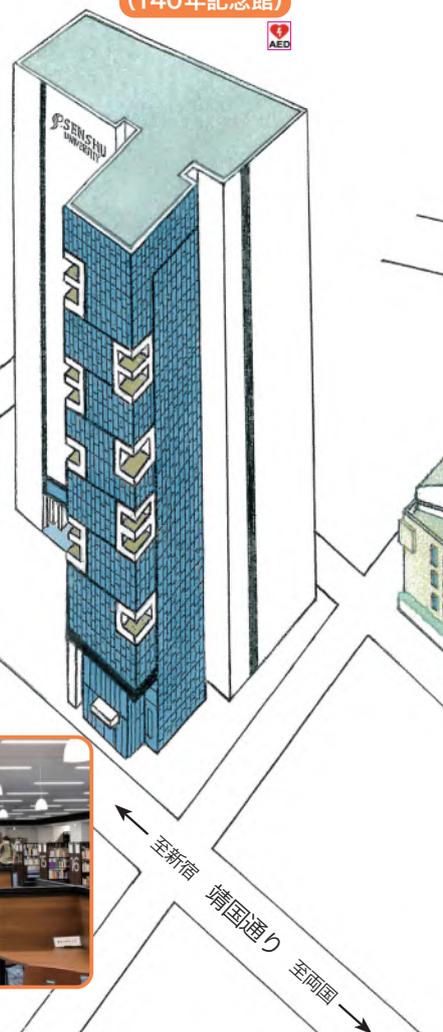
↑ 10号館 15階グローバルフロア



↑ 10号館 13・14階 Knowledge Base
(図書館靖国通り分館) (入り口は13階)



↑ 10号館 7階 107 (てんなな) 食堂



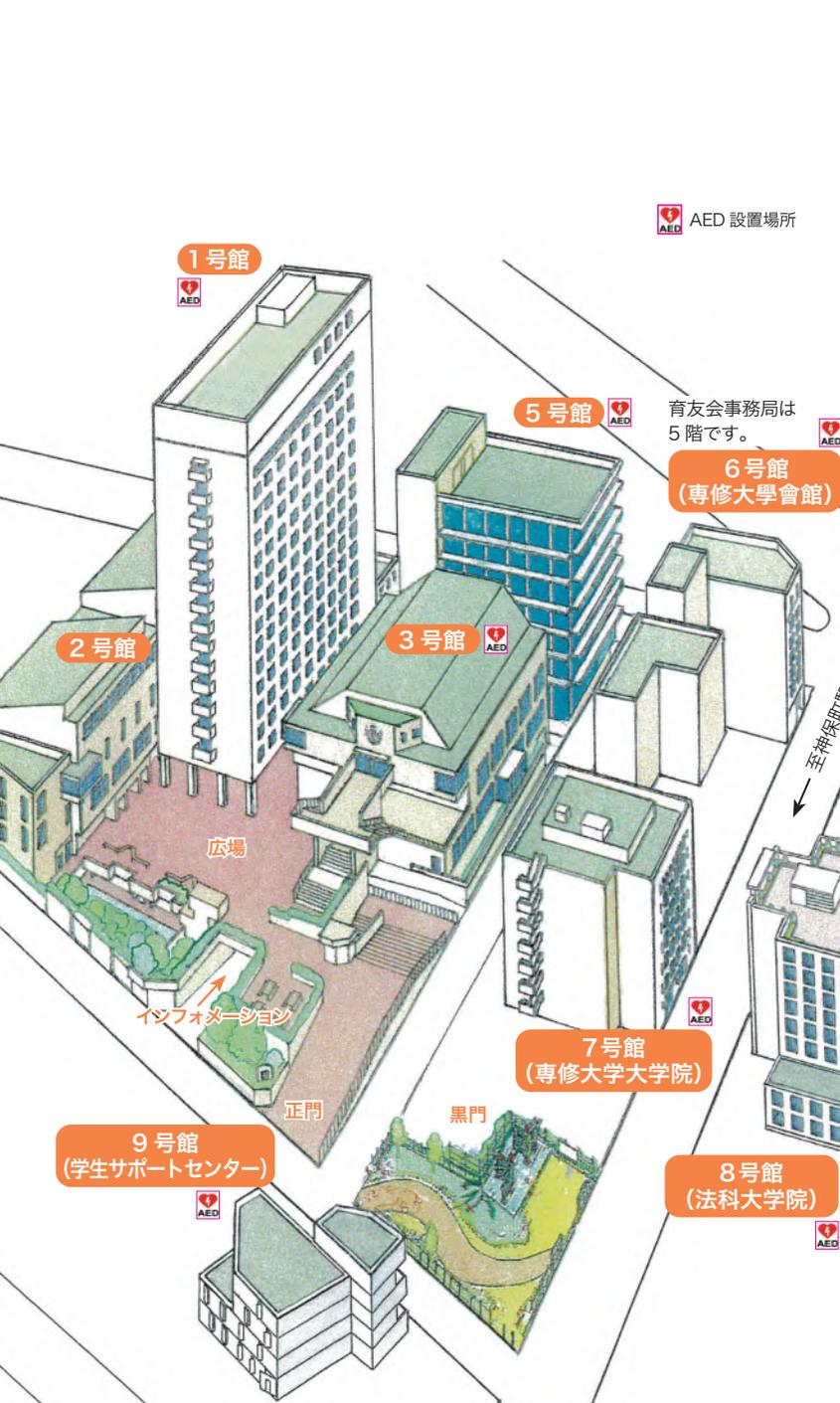
神田キャンパス

東京の中心で発展した都市型キャンパス

1880年に銀座で誕生した「専修学校」(専修大学の前身)が、神田の地に移ったのは1885年のこと。以来、140年の長きにわたり、神田神保町の街と共に発展。現在、神田キャンパスでは法学部、商学部、国際コミュニケーション学部の学生が学んでいます。キャンパスからちょっと足を延ばせば、神保町書店街、最高裁判所、東京ドームなどなど、文化的な刺激に触れることができます。



↑ 神田移転当時、黒塗りの冠木門を正門として使用したことから「黒門の専修」と呼ばれていました。育友会は2010年に専修大学創立130周年を記念して、当時の黒門を忠実に復元しました。



↑ 5号館 2階アクティブラウンジ



↑ 3号館 1～地下2階図書館神田分館



↑ 1号館前の広場



↑ 2号館地下1階法廷教室



↑ 2号館3階301教室



↑ 1号館地下1階学生ホール

